

3

みどりの課題

本市におけるみどりの課題は以下のとおりです。

■豊かなみどりの保全・再生・活用

地球的規模の環境問題が深刻化する中で、自然環境の再生と生活との共生を図ることが重要となっています。また、人々の価値観の多様化にともない、自然とのふれあいは日常生活の上でも非日常的な生活の中でも重要視されるようになっていきます。本市の南部には豊かな山林が、そして北部には海浜が広がっていますが、これらの良好な自然環境は、市民のみならず、広域的な観点からも貴重な資源としてとらえられることから、今後もこの自然環境を保全・再生・活用していくことが必要です。

■郷土に根ざしたみどりの保全・活用

ため池や海岸などの水辺、社寺林、農地などは、郷土を代表するみどりで、これらは、ふるさとの景観や生態系の保全の上でも重要な役割を担っていることから、その保全に取り組むとともに、失われつつある自然環境については再生を図るとともに、公園やレクリエーション施設などと相互に連携し、みどりのネットワークの核として活用することが必要です。

■市街地に残る農地の保全

市街地の中に残る生産緑地などの農地についても、貴重なオープンスペースとして、また防災空間としての機能を持っているため、保全を図っていくことが必要です。

■本市を代表する公園の整備

「(仮称) 泉南市営りんくう公園」は、本市のレクリエーション拠点としての整備が計画されています。都市計画決定がなされている泉南中央公園とともに、本市を代表する公園としての整備が求められます。

■身近な公園緑地の適正配置

公園緑地は、誰もが日常的に利用する場所であり、コミュニティの場としても重要ですが、現在の市民一人当たり都市公園面積は約 4.4 m²/人で、全国平均と比べても低い水準です。

一方で、本市の人口は平成 17 年(2005 年)をピークに減少に転じており、今後もその傾向は続くと予測されていることから、今後の人口動向や地域ニーズをふまえた公園緑地の適正配置が必要です。

■既存公園の適切なマネジメント

本市には、153 箇所の都市公園等が設置されていますが、これらの中には供用から年月を経たものも少なくなく、ライフサイクルコストを意識した適切なマネジメントが求められます。

■みどりを感じる生活環境の形成

身近にみどりを感じる生活環境の実現のためには、公共施設や民有地の緑化が重要です。

公共施設については、民有地緑化のモデルとなるような緑化が必要です。また、市街地内の土地の多くを占める民有地の緑化については、緑化の取組を確実なものとする方策を推進することが必要です。

■市民や事業者・行政の連携による協働のまちづくりの推進

まちづくりへの市民参加に関しては、個々の自主的な市民活動から NPO（非営利組織）団体を組織しての関与など様々な取組がなされてきています。近年では、民間事業者が公園の整備や運営に関わるような取組も始まっています。

みどり豊かなまちづくりを進めていくためには、行政による取組だけでは不十分であり、市民の主体的な活動を支援するとともに、民間事業者を含めた幅広い主体による協働のまちづくりを推進することが必要です。